

# 私が実践する経営に資する内部監査業務推進のコツ

## ～内部監査不完全燃焼に効く処方箋〔20のケーススタディから〕～

- 日 時 ● 2014年10月17日(金) 13:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 山崎 達治氏 株式会社 ロッテホールディングス 監査部長

### ●プログラム●

【ご経歴】1984年4月：住友銀行入行、主に審査部門6年、監査部門10年を歩み、その間、海外勤務を13年（サンフランシスコ、ロンドン）経験、2010年10月：ロッテホールディングスに転籍、現在に至る。各種団体等でのセミナー講演実績多数、明快で懇切丁寧な語り口で好評。

### 【開催の趣旨及び内容】

内部監査部門では、「内部監査規程」「内部監査マニュアル」等により、組織の目的や業務推進を明確に規定しています。それに関わらず、監査業務がスムーズに進行しない、監査対象先や経営からの評判や評価も芳しくないといった状況に陥ることもあります。講師は2012年、内部監査の専門団体が主催する部門長研修会の講師を担当し400名以上の部門責任者の方々と交流を持ちました。その際に受けた色々なご相談を元に、今回はケーススタディとして20例を用意しました。

本セミナーでは、4つの観点から解説します。第1に経営層のニーズに合致した内部監査のミッションを策定・実施しているか、第2にそのミッションに則った内部監査計画は提示し経営層に納得してもらっているか、第3にその計画を実現した結果は経営層の懸念事項を捉え、リスク事項に関する改善提案を分かり易く伝えることが出来ているか、最後に内部監査により組織的な改善が目に見えるかたちで進んでいることを経営層に実感してもらっているか、等々を実体験やケーススタディを交えながら解説します。何かとうまく行かないとお悩みの責任者、マネジャーの方々の積極的参加をお勧め致します。

### ケーススタディ例

1. 経営が監査に関心を持ってくれない・・・
2. 内部監査部門の独自性や情報へのアクセス権を否定される・・・
3. 被監査部門との信頼関係が築けず、監査の効用も理解されない・・・
4. 監査業務が属人的になり、監査の質が高まらない・・・
5. 海外監査がスケジュール通りに行かず、指摘漏れも散見・・・

＜質疑応答&意見交換＞終了後、個別のご相談にも対応します。

### ●参加要領●

#### ●受講料：1名（資料代含）

正会員	32,400円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

〔本体価格 30,000円 本体価格 32,000円〕

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。開催1週間前に、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

#### 一般社団法人 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

141513-0506	10/17 私が実践する経営に資する内部監査業務推進の～		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			

★申込書にご記入頂きました個人情報は、本研究会に関する確認・連絡及び弊会主催催事情報等をご案内する際に利用させていただきます。